

# 冬のヒグマ に注意!



2月2日、上尾幌の国有林内にある大平林道付近において、樹木の調査作業を行っていた男性作業員が、ヒグマに襲われ、頭部に重傷を負う事故が発生しました。

1月26日には、標茶町塘路の林内でも、ヒグマに襲われ林業作業員が亡くなる事故も発生しています。

一般的にヒグマは冬期間、山林内の地中に掘った穴の中で冬眠しますが、周囲の音や振動で目を覚まし、ヒグマに遭遇する可能性があります。ヒグマの巣穴は、雪に覆われるなど見つかることは困難です。

ヒグマの事故に遭わないために、冬期間は次のことに注意してください。



【ヒグマが冬眠していた巣穴】



【ヒグマを駆除するために打ち合わせをするハンターら】

- 山林や林道への立ち入りは可能な限り避けましょう。
- 山野で活動する際は、冬期であっても常にヒグマの存在を意識するとともに、足跡などがいないか十分に確認しましょう。
- 足跡やふんを発見したら、その場から速やかに離れましょう。
- 入林する際
  - ・鈴を鳴らすなど音を出して、人間の存在を知らせましょう。
  - ・目立つ服装をし、単独行動はやめましょう。
  - ・事前に林政係や地元の人に聞くなどして、ヒグマの出没情報を収集しましょう。また、新聞やテレビなどでヒグマの出没情報を確認しましょう。

ヒグマを目撃したり、足跡やふんを発見したら、林政係まで連絡をお願いします。

- 問い合わせ  
環境政策課林政係 ☎内線252～254